

3daysofdesign 2026

『Make This Moment Matter』 — この瞬間を、大切にする —

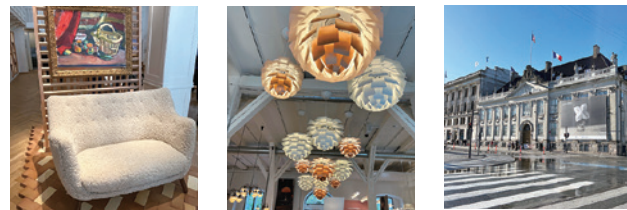
北欧最大級のデザインイベント「3daysofdesign」が、6/10～6/12にかけてデンマーク・コペンハーゲンで開催されました。

特定のメイン会場はなく、街全体がショールームとなり、ギャラリーや隠れた名建築がそのまま展示空間に。散策しながらデザインに触れられる、まるで“街を歩くこと”そのものが体験になる3日間です。空気がどこまでもクリエイティブで、ただ歩いているだけで感性が静かに揺さぶられるような時間でした。

ルイス・ポールセンやフリッツ・ハンセンなどの北欧ブランドをはじめ、世界中のデザイナーが新作やインスタレーションを発表し、街のあちこちで“デザインの現在地”に出会うことができます。

完成された家具や照明の美しさはもちろん、そこに至るまでのプロセスや、生まれた背景にあるストーリー、“人の尊厳をデザインする”という視点に触れ、多くの気づきをもたらした時間でした。

そして同時に、気づいたことを、これからの仕事や暮らしにどう返していくか その責任のようなものも感じました。



〓 夏、少しでも立ち止まる季節。
どうかこの夏は、日々のスピードからそっと離れ、
深呼吸するような時間を過ごせますように。
効率よりも”今ここににいること”が大切になる季節。

ただ存在することを許してくれる、やわらかな余白。
大切な人と過ごす、かけがえのないひととき。
そんな夏を、どうか心ゆくまで味わえますように。
そしてまた、準備ができたら、静かに歩み始めましょう。



〓 Topix

住まいの心地よさは、光や温度、空気の流れといった“目に見えない質”から生まれます。今年は、その質を高めるリフォームを後押しする補助制度が充実しています。暮らしを整える小さな一歩にも、大きなリノベにも。いま知っておきたい国・県・市の3つの制度をご紹介します。

国

先進的窓リノベ 2026

- ・補助：最大 100 万円
- ・対象：内窓／外窓交換／ガラス交換
- ・効果：断熱・結露軽減・光環境 UP

神奈川県

既存住宅省エネ改修補助金（6/8 に申請が締め切られました）

- ・補助：最大 15 万円
- ・対象：窓・ガラス・断熱材
- ・特徴：小さなリフォームでも使いやすい

横浜市

既存住宅断熱改修補助制度（戸建てのリフォーム対象）

- ・補助：最大 150 万円（子育て世帯）
- ・対象：断熱フルリノベ
- ・特徴：大規模改修の強い味方

今後は、みらいエコ住宅 2026 事業の申請も始まります。（6/30～予定）

ご 相 談 い た だ い た 方 に 『 リ ノ ベ ー シ ョ ン 実 例 集 』 差 し 上 げ ま す 。

発行：株式会社マルナカホーム リノベーション事業部
〒223-0057 横浜市港北区新羽町 896
free / 0120 28 45 28

© 2026 Marunaka Home Inc.



お問い合わせ



Home page



Instagram works



YouTube

本誌は、これまでご挨拶をさせていただいた皆さまとのご縁を大切にお届けしています。

Fika

住まいと暮らしの小さなワクワクを私たちの視点でそっとお届けします



marunaka home
no'clock

家族それぞれの“好き”が育つ家



リノベでつくる、わたらしい居場所 —4つの物語—

元和室を洋間にし、ソーイングアトリエに
リビングの続き間に、糸の音が響く午後



空間の静けさは、手仕事に向いています。
ミシンのリズム、布の手ざわり、窓からやわらかく
差し込む光。奥様の「つくる時間」が、この家
にひとつのアトリエを生みました。



キッチン前の作業台で「おうちキッチンスタジオ」
家の真ん中で、料理を発信する



壁付けキッチンの正面に、作業台を兼ねた
テーブルを設置。ご子息はそこで、料理動画
を撮影します。家族の生活音がそっと混じる、
あたたかいスタジオになりました。



ヤコブセンランプ # 化粧梁 # キュビオス # ブリックタイル
スリット格子 # ラインドレープ # オフィスメッシュチェア

北側の洋室を土間+ワークスペースに
北の光は、集中力を育てる

直射日光の入らない北側の部屋は、影がやわらかく、色が
乱れない。ご主人はその特性を活かし、洋室を土間とワー
クスペースに設えました。土間を隔てての室内窓からは心
地よい明るさで、静かな「作業の巣」がここに生まれました。



南側に寝室を置いた、一人暮らしのLDK
好きなものに囲まれて眠り、目覚める

ご主人の単身赴任で奥様おひとりの暮らし。キッチン
からもベッドからも、映画やドラマが見えるレイアウト
に。南の光が差し込む寝室が、日々の気分をそっと整
えてくれます。



Fika Column

北欧 × 余白 × 暮らし

北欧の静かな美しさを、
そっと暮らしに織り込むテキスタイル
ラブアンカンクリという物語。

フィンランドと聞いて、多くの方が思い浮かべるのは、
鮮やかな色とパターンが印象的なマリメッコかもしれ
ません。けれど北欧には、静かで、やわらかく、暮ら
しにそっと寄り添う美しさもあります。

その " 静かな北欧 " を象徴するのが、フィンランド西
部の小さな町・ラブアで生まれたラブアンカンクリ
(Lapuan Kankurit) です。100 年以上続く自社工場
で、リネンやウールといった自然素材を丁寧に織り上
げるテキスタイルは、派手さはないのに、手に取ると
忘れられない存在感があります。

私たちのモデルルームにも、ストールやブランケット
を使っていました。ふわりと掛けるだけで部屋に温
度が生まれ、リネンの質感が空気を軽やかに見せ、色の
トーンが北欧らしい静けさをつくってくれるからです。

マリメッコが " 華やかな北欧 " なら、ラブアンカンクリ
は " 余白のある北欧 "。大きなリノベーションをしなく
ても、ほんの少しのやわらかさと手ざわりのある素材
を取り入れることが、住まいの質を静かに高めてくれ
る小さな一歩になります。

